

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式		
①	申請番号	R7-6
②	研究課題名	橈骨遠位端骨折の診断と治療成績および影響を与える要因の解析
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	当院における橈骨遠位端骨折症例の疫学と臨床所見、画像所見、治療成績を調査し、診断や治療成績に与える要因を解析して治療成績の向上を目指す。適格症例の匿名化された診療情報を集計し、症例の画像的および機能的成績について後方視的に解析する。
④	利用または提供する情報の項目	①年齢、②性別、③既往歴、④家族歴、⑤病歴、⑥診断名、⑦治療内容（保存治療内容、手術方法、術後治療）、⑧機能（関節の動きや不安定性、筋力、日常生活での障害）、⑨外観、⑩画像（エックス線、CT、MRI）の評価を行い、治療前後で比較検討します。また、⑪社会・スポーツへの復帰状況、⑫合併症、⑬2次骨折、⑭生命予後を調査します。
⑤	対象者及び対象期間	当院で2013年8月1日～2025年3月31日の間に済生会小樽病院整形外科において、橈骨遠位端骨折の治療を受けられた方を研究対象とする。
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者、全国学会や国際学会で発表し論文報告する
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【診療部長 織田 崇】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
 なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。